

「土木広報大賞 2018」応募用紙

団体名：国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所

土木広報活動または作品名：冊子『国道 211 号啓開の記録』

広報活動または作品の概要

- ・平成 29 年 7 月に発生した「九州北部豪雨」は福岡県北部に甚大な被害を発生させ、九州地方整備局では 7 月 5 日に福岡県の要請を受け、福岡県が管理する国道 211 号の道路啓開作業を行った。被災地は、家屋は流され、道路は土砂と流木に覆われおり、また、複数の箇所道路は深く陥没があり、地元建設業と一体となって 24 時間体制で復旧作業を行い、7 月 14 日に緊急車両の通行が可能となった。
- ・この冊子は、この道路啓開作業の状況の記録と職員や地元建設業者の奮闘ぶりを家族等へ伝えることを目的として作成したものである。「伝わる」広報を意識し、写真（顔の見える写真）を多く使用し、手軽に配布が可能のように事務所プリンターでの印刷製本（大きさの変更も可能）とし、最後のページには、YouTube に投稿している動画を紹介する QR コードを付けることによって、広報ツールの関係も図っている。
- ・その結果、家族等から予想以上の高評価を受けたものであり、災害時の職員の奮闘ぶりを家族に伝えることも、重要な広報の一つであることを改めて実感した。（以下、作品の概要）



広報活動の効果

- ・事務所全職員、非常勤職員の家族に配布し、家族の方からは、「何日も帰って来ないで心配していたが、懸命に働くお父さんの姿を初めて見た」、「今まで知らなかったが、仕事の大変さがわかった」、「人の役に立つ大事な仕事をしていることがわかった」等と言われ、見直されたとの声を聞いており、家族の理解も得られ、職員の災害復旧に対するモチベーション向上や事務所の一体感も図られたところである。
- ・併せて、自治体や市民の方へ国土交通省の災害支援活動の理解を深めるため、自治体首長への個別説明、自治体の会議等での配布、建設業界への説明での配布、道の駅での配布などを行い、自治体の首長からは、「国交省や地元の建設業者の方がこのような作業を行って支援していただけることがよくわかった」などの声をいただいている。
- ・今後も、この冊子を活用して、家族の理解を得つつ、国交省が地元の建設業界と一体となって防災活動に取り組んでいることを PR していきたいと考えている。

付属資料の提出

■あり・□なし（どちらかに印（■）を付けてください。）